

広島商業高等学校の生徒が
令和5年度（第73回）税理士試験「簿記論」
第165回日本商工会議所主催簿記検定1級
に合格しました！！

広島商業高等学校3年生の永尾 楼侑さんが、令和5年度（第73回）税理士試験（令和5年8月8日実施）において「簿記論」に合格しました。

また、永尾さんは、2年生の古谷 高志さんとともに、第165回日本商工会議所主催簿記検定（令和5年11月19日実施）1級にも合格しました。

税理士試験や日商簿記検定1級は、非常に難関である検定資格ですが、永尾さんは、商業高校で学んだ知識・技術を生かし、この度両資格の合格を成し遂げることができました。高校卒業後は、税理士試験の全科目合格を目指して頑張ります！

1 税理士試験について

税理士試験は、税理士となるのに必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われます。

税理士試験は、会計学に属する科目の2科目と税法に属する科目のうち受験者の選択する3科目について行われ、合格科目が合計5科目に達したときに合格者となります。

令和5年度税理士試験「簿記論」の合格率は17.4%でした。



【永尾 楼侑さん】

2 日本商工会議所主催簿記検定1級について

日商簿記検定1級は、極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法・財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うために求められるレベルの試験です。公認会計士・税理士などの国家資格への登竜門とも言われています。

第165回日商簿記検定1級の合格率は16.8%でした。



【左：永尾 楼侑さん、右：古谷 高志さん】